

ご検討いただきたい論点(①～⑤)

— 事前お目通しのお願いと、添付資料のご案内 —

阿南中央図書館(仮称)開館後も羽ノ浦図書館・那賀川図書館を守る会

意見交換の場を設けてくださり、誠にありがとうございます。当日の話し合いが実りあるものとなりますよう、私どもが「お話しできれば」と考えている論点を①～⑤に整理し、あわせて参考資料をお送りいたします。あらかじめお目通しいただき、当日、市の皆さまのご見解を伺えれば幸いです。

なお、文書での回答をお願いするものではございません。その場でお答えいただける範囲で、率直にお話しいただければ十分です。いずれも市を問いただす趣旨ではなく、現状を正しく理解し、私どもにできることを一緒に探すための確認事項です。

論点	市の皆さまに伺えればと考えていること	参考資料
① 方向性の確定度	現在の「読書テラス」への移行の方向性は、すでに確定した方針でしょうか。それとも、市民の意見をふまえて今後調整し得る段階でしょうか。意見募集(184 件)では、羽ノ浦・那賀川地区「以外」の方に限っても「存続」を望む声が最も多くありました(資料 G)。この市民意見の反映のお考えと、今後の意思決定のスケジュールをお教えいただけますと幸いです。	資料 G
② 補助・地方債の対象範囲	国の補助・地方債の申請において、羽ノ浦図書館・那賀川図書館は「廃止対象施設(統合前施設)」として含まれているのでしょうか。含まれている場合、それは制度上の必須なのか、市の設計上のご判断なのか、あわせて伺えればと存じます。	資料 A
③ 「機能廃止／読書テラス化」の内容	移行後、資料の収集・整理・保存、貸出、司書の配置、レファレンスは、両館でどの範囲まで残るのでしょうか。何が残し、何が変わるのか、具体的なイメージを共有させていただければと存じます。	資料 A
④ 対象施設の設計について	すでに廃止・解体済みの旧阿南図書館・市民会館を中心とした申請設計でも、延床面積の削減要件は満たし得るのではないかと理解しております。この理解は正しいでしょうか。両館を対象から外す設計が技術的に可能かどうか、数字をもとにご一緒に確認させていただけないでしょうか。	資料 B・C 資料 D・E
⑤ 今後の対話・協働について	本日を一度きりとせず、継続的に意見交換させていただける関係を築けますでしょうか。あわせて、今年度後半に予定しております市民ワークショップへのご参加もご検討いただけますと幸いです。	資料 F

添付資料の一覧

資料 A:「図書のまち阿南」構想が示す、両館の変化(事実の整理)

資料 B:ご提案 — 対象施設を見直せば、両館は図書館として残せます

資料 C:「図書のまち阿南」構想に関する課題の整理と修正のご提案

資料 D:阿南中央図書館整備をめぐる財政比較分析(A 案・B 案)

資料 E:羽ノ浦・那賀川図書館改修にかかる補助金・地方債活用に関する提案書

資料 F:市民ワークショップ(全 3 回シリーズ)企画概要(案)

資料 G:市民意見募集(184 件)にみる「羽ノ浦・那賀川以外」の声(詳細版)

※ 私どもの理解に誤りがあれば、当日ご指摘いただけますと幸いです。市が国とのご協議を進めやすいよう、一市民団体としてお手伝いできる点を探るのが、私どもの願いです。